群馬県立 嬭恋高等学校 学校評価一覧表 (令和7年度版)

(別紙様式)

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	総合		
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	<p>コース制、連携型中高一貫教育、全国募集、DXハイスクール事業等の取り組みを通して、嬭恋高校が特色ある教育活動に力を入れている、またそうした活動が生徒の力になっていると考える保護者・職員が80%以上である。</p> <p>自分の学校が好きで、主体性やコミュニケーション能力が身についていると感じる生徒が80%以上である。</p> <p>授業アンケートが授業力向上に役立っていると感じている職員・生徒が80%以上である。</p>	<p>・理数探究基礎や総合的な探究の時間を中心に、地域と連携した活動を拡充し、嬭恋高校が特色ある学びに力を入れていることを生徒に実感してもらう。</p> <p>・学校広報誌や公式YouTube、Instagram等を通して、本校の教育活動を保護者に見てもらおう機会を定期的に設ける。また、公開授業日を設け、普段の教育活動を広く宣伝する。</p> <p>・各教科等での発言機会や意見交換の機会の拡充を行う。また各学校行事の生徒主体の運営を試みる。</p> <p>・生徒による公式YouTube、Instagram等での外部発信を試みる。</p> <p>・授業アンケートの結果の分析をもとに、個々の教員の授業改善や教科全体の指導力向上につなげる。</p>					
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	<p>生徒の実態や進路実現を踏まえた学習指導に生徒の70%以上が満足している。</p> <p>理数探究基礎や総合的な探究の時間に意欲的に取り組み、自身の力を伸ばすことができたと感じる生徒が70%以上である。</p>	<p>・基礎学力の定着だけでなく、成績上位層の能力も伸ばす。</p> <p>・学習端末の活用により、個別最適な学びを促す。</p> <p>・各学年や各単元で生徒に身に付けさせたい力を明確にした年間計画を立てる。また、そうした計画の実現に向け、定期的に探究推進委員会を設ける。</p>					
		<p>幅広い選択科目を設定した教育課程や習熟度別授業・少人数授業・TT授業等に、生徒、保護者の80%以上が満足している。</p> <p>各種検定やコンテスト等に向けて主体的に取り組む生徒が60%以上である。</p>	<p>・教科の枠を超えた教員同士の授業観察と授業方法の情報交換を推進する。</p> <p>・ICTの活用や「主体的対話的な深い学び」を推進し、授業がより充実した双方向的な活動となるよう改善を図る。</p> <p>・日本漢字能力検定、実用英語技能検定、実用数学技能検定や各種コンテスト等に向けての指導を考え、工夫して生徒の興味関心を高める。</p>					
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	<p>毎日の全校一斉清掃により校内美化に取り組み、毎日しっかり取り組んでいると感じている生徒が90%以上である。</p>	<p>・校内の環境美化や清掃に対する意識を高め、全校清掃に生徒・教員とも積極的に取り組む。</p> <p>・日頃から整理整頓を呼び掛け、汚さない・散らかさない生活を生徒に心掛けさせる。</p>					
		<p>いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていると認識している生徒が90%以上である。</p>	<p>・月1回以上の生活アンケート、生徒面談、職員間の情報交換によりいじめの防止や早期発見に努める。</p> <p>・授業や学校行事の中で、生徒の人間関係を構築する。</p> <p>・保護者との連絡を密にし、連携を強化する。</p>					
		<p>あいさつの励行を呼び掛け、自分から進んで挨拶する生徒が90%以上である。</p> <p>生徒の1日平均の遅刻者は、全校生徒の1%以下である。</p>	<p>・集団の人間関係を円滑にするために、自ら進んであいさつを行うなど、社会で通用するマナーを身に付けさせる。</p> <p>・遅刻確認用紙により遅刻者の把握をし、個別に指導を行うとともに、家庭と協力して生活習慣の見直しを行うなど、根本的な解決を図る。</p>					
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	<p>進路を実現するための準備に見通しをもって取り組んでいると評価している生徒が、70%以上である。</p>	<p>・面談をきめ細かく行い、生徒の進路意識を高める。</p> <p>・進路ガイダンスや分野別指導を通して、進路に対してより具体的なイメージをいただけるようにする。</p>					
		<p>進路関係の指導を真剣に受け、進路行事に積極的姿勢で参加していると自己評価している生徒が70%以上である。</p>	<p>・進路ガイダンスや職場体験学習などを通して、職業の関心と理解を深める。</p> <p>・事前指導・事後指導を充実させ、行事のねらいが明確になるようにする。</p>					
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	<p>中学生、保護者及び、地域の方々に本校の取組について理解してもらうために、学校の様子を積極的に発信していると考えられる職員・保護者が80%以上である。</p> <p>図書館や体育館などの学校の施設の開放が、年間100日以上である。</p>	<p>・YouTube「つまチャン」及び学校Instagramによる積極的な情報発信を行う。</p> <p>・嬭恋村の広報誌である「広報つまこい」に本校の広報ページ「つま高報」を設定してもらい、毎月、情報発信を行う。</p> <p>・吾妻郡内を中心とした中学校を訪問し、本校の取組について理解を深めてもらう。</p> <p>・図書館の地域開放を行っていることを地域の方に知ってもらう。</p> <p>・Creator's Labの地域開放に向けた検討の機会を1回以上設ける。</p> <p>・多くの方が利用しやすい時間帯や曜日の設定をする。</p>					
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	<p>1人一台端末やプロジェクターなどのICT機器を活用した授業が全体の80%以上である。</p>	<p>・一人一台端末が十分に活用できるよう校内の環境を整備したり、生徒の家庭での充電を励行したりする。</p> <p>・ICT機器を活用した授業の情報交換を行う。</p>					
		<p>各教科の定期考査でデジタル採点ツールを活用する機会を2回設定し、デジタルツールを活用できる職員が60%以上である。</p>	<p>・デジタル採点ツールの研修を行い、基本操作を身に付ける。</p> <p>・年内に2回、デジタル採点ツールによる採点を実施し、その是非を検討する機会を設ける。</p>					